

## プレミアム付商品券事業の実績について

産業経済部 商業・市街地活性化課

### 1 事業の目的

平成 26 年 4 月の消費税率引き上げ後の消費の落ち込みに対して、早急の消費喚起を図るとともに、地元小売サービス店の利用向上につながる地域消費の拡大を図るため、商工会議所と連携協力して地域消費喚起商品券事業（プレミアム付商品券事業）を実施した。

### 2 プレミアム付商品券の概要

- ・ プレミアム率 20 パーセント（商品券 1 枚 1,000 円 12 枚綴り 1 冊を 10,000 円で販売）
- ・ 商品券 1 冊 12 枚のうち 5 枚をすべての加盟店で利用できる 共通券、7 枚を中小加盟店でのみ利用できる 専用券とする。
- ・ 商品券発行 26,000 冊、販売総額 2 億 6,000 万円（商品券総額 3 億 1,200 万円）
- ・ 基本購入限度数ひとり 2 冊
- ・ 一般販売 平成 27 年 6 月 21 日（日）、子育て支援先行販売 平成 27 年 6 月 8 日から 6 月 19 日まで（子どもひとり 1 冊 1,000 円の購入補助）
- ・ 商品券の使用期限 一般販売の日から平成 27 年 9 月 30 日まで

### 3 事業の実績

- ・ 子育て支援の先行販売は、飯田市こども家庭応援センター開設記念としてりんご庁舎において 12 日間で 9,818 冊を販売した。しかし、購入対象者の 56%の販売に留まったため、購入されなかった分については、一般販売に追加した。
- ・ 一般販売の日曜日は、商工会館や各地区自治振興センターなど 16 会場において 12,866 冊を販売したが、全体としては売れ残りが出たため、急きょ翌日以降も販売した。情報提供の手段が少なかったが、新聞や SNS 等で案内したところ火曜日までに残り 3,316 冊を売り切ることができた。
- ・ 取扱加盟店は、商工会議所会員 629 店舗。うち中小加盟店 610、大型店及び専門店 19。また、新規に 41 事業所が商工会議所会員となった。
- ・ 発行総数 312,000 枚のうち 311,453 枚が換金された。換金率は 99.8%。
- ・ 規模別の商品券換金状況は中小加盟店 74.1%、大型加盟店 25.9%となった。

### 4 事業の効果分析及び考察 ～利用実態アンケート及び取扱加盟店アンケートより～

- ・ 商品券による消費支出は、「普段と変わらない」との回答が 55.0%、「消費支出額が増えた」との回答は 44.2%であった。取扱店の 62.8%からも、商品券の効果による売上増など効果があったと回答があり、消費喚起や消費拡大の効果を出している。
- ・ 商品券の消費支出の上位は、外食 19.6%、衣類 13.0%、食品 11.4%、趣味やレジャー 9.7%で、家庭の外での消費活動が若干活発化したと分析。
- ・ 中小加盟店の利用促進のため、商品券に中小加盟店のみ使用できる専用券を設定したが、大型店等すべての加盟店で使用できる共通券との割合に対して、利用者 60.7%、取扱加盟店 74.9%で適当との回答があった。地元の中小小売サービス店に対して理解がある。
- ・ 規模別の商品券換金状況から、地元小売サービス店を利用しようとする消費者意識は高いことがわかる。
- ・ 取扱加盟店アンケートでは、商品券事業の地域経済効果は、「少しはある」51.9%、「十分にあり」28.0%という回答結果であった。
- ・ 今回の商品券事業により新たな消費に回った効果額は 1 億 1,000 万円と利用実態アンケートから独自に試算した。（参考：商品券の利用期間は約 3 か月）

### 5 その他

- ・ 多くの消費者が購入できるように購入限度数をひとり 2 冊と設定したが、全国の同様事業と比較する中で、飯田市の趣意に対して好評の所感が寄せられた。
- ・ 広く行き渡るように一般販売の会場を各地区に設定し、過去の実績などを基調として商工会議所と協議して販売計画を立てたが、先行販売は今回が初めてのこともあり、初日の購入見込みや販売予測が難しかった。